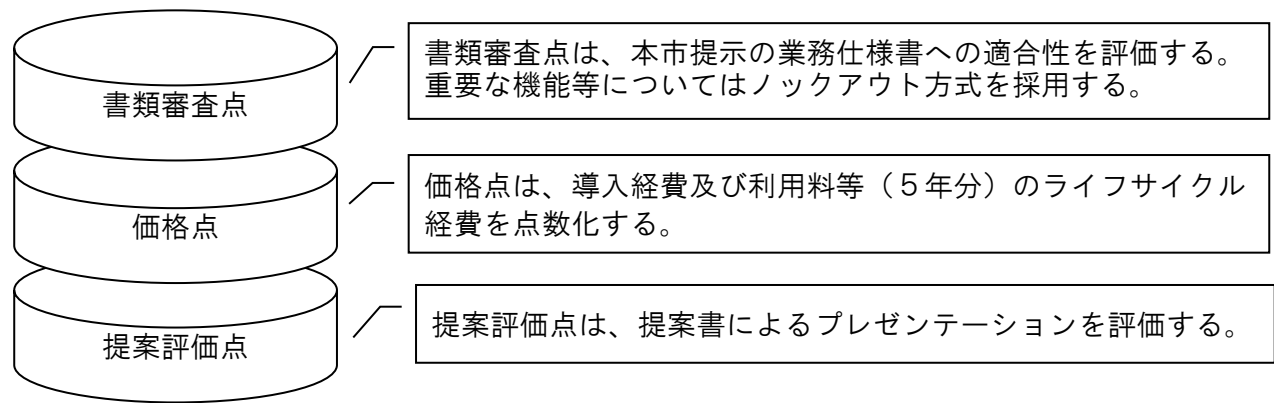


提案評価の方法について

佐世保市学校体育館等におけるスマートロック及び施設予約システム導入業務の提案評価は、コスト・品質・提案者のスキル等を総合的に評価する。よって、以下のとおり「書類審査点」及び「価格点」「提案評価点」により評価を行う。



【点数】 合計 **2,400** 点（総合点）

1. 書類審査点

対象	別紙6（4-1,4-2,4-3.4-4）「機能要件確認表」の各項目	
点数配分	500 点	
評価方式	①パッケージシステムの対応状況を点数化する。開発方針に基づいて、本市要求に対するパッケージの対応適合率が高いほど高得点となる。	
	②評価は、提案者の自己評価を基本とする。	
	③提案者の自己評価をもとに事務局（教育委員会教育施設課）が審査（採点）する。必要に応じて、機能要件確認表の内容確認を行い、評価を確定させる。	
	④本市の要求のうち、「必須」項目に対応できない場合は、ロックアウト（不採用）とする。	

◆書類審査点の評価 ➤様式1（機能要件確認表）

要求レベル「必須」：業務を実施するために最低限必要な機能に対する評価

評価	基 準	配点
◎	機能要件確認表に記載している要求事項に対応するパッケージ機能が有り、他の地方自治体における利用実績も有る。	3 点
○	機能要件確認表に記載している要求事項をパッケージ機能に合わせることで、同等以上のことが実施可能である。	2 点
△	機能要件確認表に記載している要求事項に対応するため、パッケージ機能のカスタマイズ又は機能のスクラッチが必要である。	1 点
×	機能要件確認表に記載している要求事項に対応することができない。	ロックアウト（不採用）

要求レベル「加点」：業務レベルを向上するために必要な機能に対する評価

評価	基 準	配点
◎	機能要件確認表に記載している要求事項に対応するパッケージ機能が有り、他の地方自治体における利用実績も有る。	5 点
○	機能要件確認表に記載している要求事項をパッケージ機能に合わせることで、同等以上のことが実施可能である。	3 点
△	機能要件確認表に記載している要求事項に対応するため、パッケージ機能のカスタマイズ又は機能のスクラッチが必要である。	1 点
×	機能要件確認表に記載している要求事項に対応することができない。	0 点

2. 価格点（ライフサイクルコスト）

資料	別紙9（2-1,2-2）「見積書」	
点数配分	500	点
評価者	事務局（教育委員会教育施設課）	
評価方式	価格を点数化し小数点以下は切り捨てるものとする。	

●価格の評価

①価格は導入費用及び利用料（5年分）を対象とする。

②価格の評価方式は以下の計算とする。

価格点の配分×（1－見積額（導入費・ライフサイクルコスト）／※調達コストの目安の導入費・予定ライフサイクルコスト）
 ※調達コストの目安は、「佐世保市学校体育館等におけるスマートロック及び施設予約システムの導入業務仕様書－6 調達コストの目安」にある記載のとおりとする。

③調達コストの目安（上限）を上回っている場合は、ノックアウト（不採用）とする。

3. 提案評価点

対象	評価基準に基づく提案書一式及びプレゼンテーション ※プレゼンテーションは一次審査通過者のみ	
点数配分	1,400	点 ※各項目の配分は配点表のとおり
評価方式	①評価を行うため、庁内に審査委員会を設置する。 ②提案者が作成する技術提案書の各項目を、それぞれの審査員が主観的な評価で採点する。また、一次審査通過者については、システムの外観や実際の運用などのプレゼンテーションを評価し、加算する。 なお、審査は複数名で行い、各審査委員の点数を合計した点数（提案評価点）により評価する。	

●提案の評価

①配点は、各項目の優先度・重要度によって配点する。

②提案評価点の委員1名あたり配点は200点とする。（合計点：200点×7名＝1,400点）

③適正基準点は、総合点をもとに1,440点とし、総合点が適正基準点未満の場合は、ノックアウト（不採用）とする。

④適正基準点以上であっても、提案評価点における各委員の採点において、6割未満の採点を行った委員が1人でもいる場合は、原則失格とする。ただし、委員会において履行能力を判断し、可能と判断した場合のみ、この提案者を受託候補者にできるものとする。

⑤提案評価点において、下記に示す評価内容において、評価レベル1以下と評価された審査項目が1つでもあった場合は、原則失格とする。ただし、評価レベル1が1つのみである場合は、委員会において履行能力を判断し、可能と判断した場合は、この提案者を受託候補者にできるものとする。

評価内容	評価レベル	乗率
特に優れている（高度な能力を有している）	5	100%
優れている（十分な能力を有している）	4	80%
普通（一応の能力を有している）	3	60%
多少不十分である（多少能力が乏しい）	2	40%
不十分である（能力が乏しい）	1	20%
劣っている（能力がほとんどなく、任せるに不安がある）	0	0%